

代表質問

代表質問とは

新年度予算が提案される3月議会において、所属議員3人以上の会派の代表者が行います。

質問は、会派を代表するものであることから、会派の政策や理念等を踏まえ、施政方針、当初予算および市政の重要課題に関して、市の見解を問います。

会派名簿

自由民主党明石

出雲有希子 石井宏法 井藤圭順 灰野修平 榎本和夫 千住好巳 三好浩巳 辰巳宏司

明石かがやきネット

林丸美 竹内きよ 宮坂祐太 寺井吉広

明石維新の会

上田雅彦 中正茂雄 高尾克幸 尾秀彰

日本共産党

辻本達也

対話の会あかし

中西礼皇

スマイル会

家根敦子

(会派別・議席順/3月31日現在)

自由民主党明石

千住啓介 議員

明石市の未来

丸谷市政が強調する対話と共創は手法に過ぎず、その先に創造する明石市の未来について明確なビジョンが示されていないが、どのような未来を目指すのか。また、新ごみ処理施設や市民病院、水道等のインフラ整備など、公共施設の更新が差し迫っており、このままでは財政的に苦しく

なる。専門家による成長戦略を打ち立てるなど、必要な投資を行うべきと考える。今後の財政見直しについて、市長の見解を聞く。

答 対話と共創の先に創造する本市の未来は、市民の笑顔がめめに対話を通して市民の生の声を聴く取り組みを進めてきた。今後ますます複雑化、多様化する市民ニーズや地域課題を解決するには、従来型の行政サービスでは十分に対応できないことが多くなっており、産官学民と共創し、より効果的、効率的で、きめ細やかな施策展開を進め、もっとやさしいまちにしていきたい。

に伴う税収増等により、直ちに持続可能性が問題になることはないが、老朽化した公共施設やインフラへの対応は、必要性や将来にふさわしい在り方を見定める必要がある。令和6年度に財政白書を策定するが、成長戦略は重要であることから専門家の知恵を借りることも検討していきたい。



今後の財政見直しについて市長の見解は

公明党

国出拓志 議員

防災・減災対策

問 能登半島地震では、道路が寸断され、救援物資が届かなかった。広範囲にわたる激甚災害に備え、海路や空路からの支援を考えるべきではないか。

答 激甚災害時に陸路が絶たれる可能性は十分にあり、海路や空路を利用した支援経路の確保は重要と認識している。

海路については、明石港を主なターミナルとし、状況を見ながら漁港などでもできる限り使用していく。また、重要港湾である二見港を含む東播磨港については、排水量の多い船舶の発着を県と調整し、対処できるよう検討していく。港湾が使用できない場合は、能登半島地震の際に海上自衛隊が海岸部に救援物資を輸送した例があることから、本市でも大蔵海岸等を使用できないか、調査研究を進めていく。空路については、ヘリコプターによる支援が有効であり、負傷者の緊急輸送などが可能なことから、着陸適地として7カ所を指定している。また、ドローンは、情報収集



今後の活躍が期待されるドローン

集や物資の運搬に有効なことから、民間事業者と協定を締結し、災害時に備えている。今後は、より効率的に運用できるような、ドローンの運用に精通した企業との協定締結に向け、調査研究していく。

その他の項目

○新年度予算

○財源確保に向けた今後の取組

市民の会

中川夏望 議員

施政方針

問 市長は、まちづくりの基本方針として対話と共創を掲げているが、その思いを聞く。

答 本市の目指すまちの姿「いつまでもすべての人にやさしいまちをみんなで」を実現するため、市民目線のまちづくりを進めていく決意の下、タウンミーティングや市民からのお便りなど、さまざまな機

会を通じて市民の声を直接聴いている。多くの市民の生の声を聴く中で、市民をはじめとした多様な主体と共に明石のまちをつくるっていくことが大切であると改めて感じてもらい、引き続き、市民との対話を通じて、複雑化、多様化している市民ニーズや地域課題を把握していきたい。

と位置付け、まちづくりの基本方針を対話と共創とした。市民とつながり、共に創る明石の未来を目指し、明石に住んで良かったと思えるやさしいまちづくりを産官学民と共に進めていきたい。

その他の項目

○令和6年度当初予算

○待機児童対策



対話を通じてニーズや地域課題を把握